

税理士

財務諸表論 直前ゼミ

(問題・解説・解答)



第76回財務諸表論（理論：答練内容）

令和8年6月 会計アカデミー（弥生カレッジ）

答練（回）	内容	過去出題実績 （年度・回）	答練のテーマ
第1回	棚卸資産	H24	低価法
	繰延資産	H26	資産の定義や、貸借対照表観との関係
第2回	のれん	H26	企業結合 概念フレームワーク
	損益計算書原則 収益認識	R4、R7	実現主義とリスクからの解放 収益認識の基本的 論点
第3回	減損	R3、R5	正誤
	重要性の原則		正誤
	税効果	H25	正誤
	概念フレームワーク	R1～R7 頻出	正誤
	減価償却	R4	記述
	有価証券	R1	記述
	純資産	R5	記述

第3回は公認会計士の試験問題を参考に出題可能性の高い論点を出題しています

上記以外では、引当金や包括利益の論点も復習しておいてください

会計アカデミーでは添削は実施しておりません

ChattoGPT や gemini など自身で自身の回答の添削を行うと参考になります

財務諸表論 直前ゼミ 1

第 76 回（令和 8 年）問題

初回につき、試験に臨むポイントを少し…

<ポイント>

①専門誌の模範解答は専門学校の講師数人が何度もチェックした解答です。あのような解答は本試験ではだれも作成できません。

②基準の言葉は厳密に

企業会計原則や会計基準の（）埋めの問題は厳密に書くこと

最近は選択肢の問題も多いので、その場合は取りこぼしをしないように

③わからないときでも下記の要領で作文で点数を稼ぐ

計算用紙で事前準備

主語と述語を意識して簡潔に記す。

形容詞を付け加える

「さらに」「これにより」などで追記する。

例：減価償却は費用配分の手続きである。

→減価償却は取得原価を耐用年数にわたって配分する手続きである。

→減価償却は取得原価を耐用年数にわたって配分する手続きである。これにより適正な期間損益計算を実現する。

目標時間は 30 分です。

できれば何も見ずに解答して下さい。もしもテキストみる場合でも「10 分程度暗記を行い」

その後に「何も見ずに解答する努力」をしてください

今回のテーマ

①棚卸資産の会計基準の新旧比較、他の会計基準との関連などを問う問題です。

会計基準の横断的な知識の確認をしてください。

②繰延資産の定義から、貸借対照表観の歴史的変遷を問う問題です。企業会計原則と概念フレームワークの関連を問う問題は今後の主流になる可能性があります。

会計アカデミー（弥生カレッジCMC）横山

第 1 問 (1. ①②各 2 点、2. 10 点、3. 5 点、4. 各 3 点→合計 25 点)

1. 次の文章は棚卸資産の評価に関する会計基準（7 項）の抜粋である。
①から②にあてはまる適切な語句を記入し、以下の問に答えなさい

通常の販売目的で保有する棚卸資産は、（ ① ）をもって貸借対照表価額とし⁽⁷⁾、期末における正味売却価額が取得原価よりも下落している場合には、当該正味売却価額をもって貸借対照表価額とします。この場合において、（ ① ）と当該正味売却価額との差額は（ ② ）として処理⁽⁴⁾します。

①	②
---	---

2. 下線部(7)にある貸借対照表価額について、有形固定資産と売買目的有価証券は他の方法で評価する。評価基準の異なる理由を記しなさい。なお、次のキーワードを必ず使うこと。
<キーワード：概念フレームワーク、事業遂行上の制約>

3. 下線部について、当会計基準ができる前は例外的位置づけとされていた。これに関してなぜ例外とされていたのかの理由を示しなさい

4. 現行会計基準では例外ではなく原則となった。その理由を 2 点答えなさい。
なお、解答のうちの 1 つは他の会計基準との関連にも触れること。

①	
②	

第2問 (1. ①~④各1点、2. 4点、3. 各1点、4. 4点、5. 各3点→合計25点)

1. 次の文章は企業会計原則（注解15）（注解18）の抜粋である。
①から④にあてはまる適切な語句を記入し、以下の問に答えなさい

（注解15）

「将来の期間に影響する特定の費用」とは、すでに（①）が完了し又は（②）が確定し、これに対応する役務の提供を受けたにもかかわらず、その効果が将来にわたって（③）するものと期待される費用をいう。これらの費用は、その効果が及ぶ数期間に合理的に配分するため、経過的に貸借対照表上繰延資産として（④）。

①	
②	
③	
④	

2. 概念フレームワークの資産の定義を記しなさい

3. 平成18年に「繰延資産の会計処理に関する当面の取扱い」が発表された。この取扱いで繰延資産とされているものが5つあるが、その項目を記載しなさい。

①	株式交付費
②	
③	
④	
⑤	

4. 株式交付費について、会社計算規則では、株主からの払込額と相殺し、残高を資本金および資本準備金とする会計処理を示唆しています。しかし、この処理は当分の間は適用しないこととされ費用処理することとされた。その理由を企業会計原則の内容を考慮に入れて述べなさい

--

(※注解では株式払込剰余金と表記されている)

5. 繰延資産の資産性について、静態論・動態論・資産負債アプローチの観点から述べよ
なお、それぞれの会計観についても述べること。

静態論	
動態論	
資産負債アプローチ	

財務諸表論 直前ゼミ 1

第 76 回(令和 8 年) 解答

添削問題はチャット G P T や Gemini を活用して自己採点をすると、新しい発見があります。

第1問 (1. ①②各2点、2. 10点、3. 5点、4. 各3点→合計25点)

1. 次の文章は棚卸資産の評価に関する会計基準(7項)の抜粋である。
①から②にあてはまる適切な語句を記入し、以下の問に答えなさい

通常の販売目的で保有する棚卸資産は、(①)をもって貸借対照表価額とし⁽⁷⁾、期末における正味売却価額が取得原価よりも下落している場合には、当該正味売却価額をもって貸借対照表価額とします。この場合において、(①)と当該正味売却価額との差額は(②)として処理⁽⁴⁾します。

①取得原価	②当期の費用
-------	--------

2. 下線部(ア)にある貸借対照表価額について、有形固定資産と売買目的有価証券は他の方法で評価する。評価基準の異なる理由を記しなさい。なお、次のキーワードを必ず使うこと。
<キーワード：概念フレームワーク、事業遂行上の制約>

投資家の意思決定に有用な財務諸表を目的とする概念フレームワークの立場から、売却する場合に事業遂行上の制約がある事業投資である有形固定資産の場合は取得原価で評価するのが望ましく、その制約がない金融投資である売買目的有価証券は時価の変動を目的とする投資なので時価で評価するのが望ましいから。

3. 下線部について、当会計基準ができる前は例外的位置づけとされていた。これに関してなぜ例外とされていたのかの理由を示しなさい

棚卸資産の原価と当期の実現収益を対応付ける適正な損益計算のために、期末変動の時価が損益に影響を与える低価法は例外とされた

1,000円で購入→900円(評価損)→翌期に1,500円で売却 利益 600? 500 だろう!

4. 現行会計基準では例外ではなく原則となった。その理由を2点答えなさい。
なお、解答のうちの1つは他の会計基準との関連にも触れること。

①	取得原価基準の本質＝将来の収益を生み出すための有用な原価、すなわち回収可能な原価だけを繰り越す
②	有価証券や固定資産の減損などと整合性を保たせるため 回収可能な額まで帳簿価額を切り下げる

① の回収可能な原価＝正味売却価額

第2問（1. ①~④各1点、2. 4点、3. 各1点、4. 4点、5. 各3点→合計25点）

1. 次の文章は企業会計原則（注解15）（注解18）の抜粋である。

①から②にあてはまる適切な語句を記入し、以下の問に答えなさい

（注解15）

「将来の期間に影響する特定の費用」とは、**すでに**（①）が完了し又は（②）が確定し、これに対応する**役務**の提供を受けたにもかかわらず、その**効果**が将来にわたって（③）するものと期待される費用をいう。これらの費用は、その効果が及ぶ数期間に合理的に配分するため、経過的に貸借対照表上繰延資産として（④）。

①	代価の支払
②	支払義務
③	発現
④	計上することができる

<ゴロ> 酢で薬効

2. 概念フレームワークの資産の定義を記しなさい

過去の取引または事象の結果として、報告主体が支配する経済的資源。

なお、経済的資源とは、キャッシュの獲得に貢献する便益の源泉。
（キャッシュフロー生成能力でも可）

3. 平成18年に「繰延資産の会計処理に関する当面の取扱い」が発表された。この取扱いで繰延資産とされているものが5つあるが、その項目を記載しなさい。

①	株式交付費
②	社債発行費等
③	創立費
④	開業費
⑤	開発費

4.株式交付費について、会社計算規則では、株主からの払込額と相殺し、残高を資本金および資本準備金とする会計処理を示唆しています。しかし、この処理は当分の間は適用しないこととされ費用処理することとされた。その理由を企業会計原則の内容を考慮に入れて述べなさい

資本金（※）と株式発行費用の相殺が、資本取引と損益取引の混同となり、資本取引損益取引区分の原則に反し、企業の財政状態および経営成績が適正に表示されないことになる。具体的には

- ①株式交付費は株主に支払われるものではない
 - ②資金調達のために必要な財務費用の性格が強いので最終的には費用とすべきである。
 - ③資金調達費用を損益計算に反映させることが投資家にとっての有用性に資する
- これらの理由により株式交付費は費用処理をすることが相当とされたのである。

<実務対応報告第 19 号繰延資産の会計処理に関する当面の取扱い（ASBJ）>

3 会計処理 (1) 株式交付費の会計処理の考え方より

5.繰延資産の資産性について、静態論・動態論・資産負債アプローチの観点から述べよ
なお、それぞれの会計観についても述べること。

静態論	会社が活動をやめた時（静かになる時）に債権者にいくら払えるか（換金価値－確定債務）を表すものが B/S。これを静態論のもとでの貸借対照表といいます（静的貸借対照表）。この場合の資産は換金価値を有するものとなります。当然繰延資産は認められません。
動態論	利益配分である配当原資としての利益計算が最も重要な概念という考え方。この場合の資産は費用を計上した結果の未解決項目であり、その観点から繰延資産の計上は認められる。
資産負債アプローチ	概念 F W の資産の定義である「過去取引または事象の結果、報告主体が支配している経済的資源（C F 生成能力）」から考えると、キャッシュの獲得に貢献する可能性があれば繰延資産は認められる。

財務諸表論 直前ゼミ 2

第 76 回（令和 8 年）

目標時間は 40 分です。

できれば何も見ずに解答して下さい。もしもテキスト等みる場合でも「10 分程度暗記を行い」その後に「何も見ずに解答する努力」をしてください

今回のテーマ

- ① のれんに関する知識を総合的に問う問題です。
- ② 新基準である収益認識の会計基準に関する問題です。基本的な問題は解けるようにしておこう。

第1問 (25点)

1. 次の文章は「のれん」に関連する会計基準等の抜粋（一部省略）です。①から③にあてはまる適切な語句を記入し、以下の問に答えなさい

＜企業結合に関する会計基準＞

取得原価が、受け入れた資産及び引き受けた負債に配分された（ ① ）を上回る場合には、その（ ② ）はのれんとして会計処理し⁽¹⁾、下回る場合には、その不足額は負ののれんとして会計処理をする。

＜概念フレームワーク＞

利用価値は、市場価格と並んで、資産の価値を表す代表的な指標の1つである。利用価値は、報告主体の主観的な期待価値であり、測定時点の市場価格と、それを超える無形ののれん価値とを含んでいる⁽²⁾。そのため、利用価値は、個々の資産の価値ではなく、貸借対照表には計上されていない。

無形資産も含んだ企業全体の価値を推定する必要がある場合に利用される。ただし、取得原価を超える利用価値で資産を測定した場合には、（ ③ ）が計上されることになる⁽³⁾。

①	②	③
---	---	---

(各1点)

2. 下線部(1)について、連結財務諸表に関する会計基準ではどのように表現されているか

--

(4点)

3. 下線部(2)について、「減損に係る会計基準の設定に係る意見書」ではどのように表現されているか

--

(4点)

4. 下線部(3)について、③が計上されることは、財務報告の目的との観点でどのような問題があるか

--

(4点)

5. のれんの償却に関する以下問に答えなさい

のれんを「規則的に償却すること」によるメリットを損益計算の立場から答えなさい

(5 点)

「企業結合により生じたのれんを規則的に償却しない場合は、時間の経過とともに自己創設のれんに入れ替わる可能性がある」といわれているが、その理由を述べなさい

(5 点)

第2問 (25 点)

1. 次の文章の () にあてはまる適切な語句を記入し、以下の問に答えなさい

＜損益計算書原則 1 A＞

すべての (①) 及び (②) は、その支出及び収入に基づいて計上し、その発生した期間に正しく割当てられるように処理しなければならない。ただし、(③)、原則として、当期の損益計算に計上してはならない。

①	②	③
---	---	---

(各 1 点)

実現の 2 要件を答えよ

①	②
---	---

(両方正解で 2 点)

以下の問に簡潔に答えよ (各 2 点)

リスクとは

--

投資のリスクとは

--

リスクからの解放とは

--

収益認識の会計基準における 5 つのステップに関し、() 内に適切な語句を記入しなさい

ステップ 1 : 顧客との (①) を識別する。

ステップ 2 : (①) における (②) を識別する。

ステップ 3 : (③) を算定する。

ステップ 4 : (①) における (②) に (③) を配分する。

ステップ 5 : (②) を充足した時に又は充足するにつれて収益を認識する。

①	②	③
---	---	---

(各 1 点)

★ステップ 3 について

取引価格とは、財又はサービスの顧客への移転と交換に企業が権利を得ると見込む対価の額（ただし、第三者のために回収する額を除く(1)。）をいう。取引価格の算定にあたっては、契約条件や取引慣行等を考慮する。

顧客により約束された対価の性質、時期及び金額は、取引価格の見積りに影響を与える。取引価格を算定する際には、次の（中略）すべての影響を考慮する。

(1) 変動対価
(2) 契約における重要な金融要素

変動対価の意味を説明しなさい

(3 点)

変動対価の計算方法には 2 種類ある。その名称を記しなさい

①	②
---	---

(各 1 点)

契約における金融要素の影響を考慮する例を仕訳で例示しながら説明しなさい

(2 点)

★ステップ 5

一時点で充足される履行義務において、一般の商品販売において採用される収益の認識基準を国内取引を例にして示しなさい

--

(2 点)

一定の期間にわたり充足される履行義務において、工事契約において収益の認識基準を例に進捗度を合理的に見積もることが可能な場合とそうでない場合の基準名を示しなさい

可能な場合：
そうでない場合：

(各 1 点)